

伊勢町あいさつ運動

神戸市で起きた女兒の悲惨な事件や高齢者の徘徊不明が多数になっているなど、様々な事柄が発生しています。

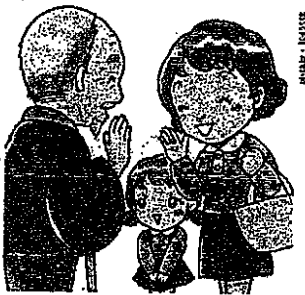
このような時勢を受けて、芦屋市の各部門からも、地域でのこのような課題解決のための意見交換の会議が催されています。7月には精道小学校区内の自治会・老人会・子ども会の役員や民生委員が集まって、「さりげない見守り」をするために何が必要か話し合いました。

町内毎に具体的な案が出されましたが、伊勢町では「さりげない見守り」の第1ステップとして、「あいさつ運動」を始めようという結論になりました。

一時的な運動でなく、長く定着させることができれば、「安全」「安心」で「ふれあいのある」町にすることができるのではないかと思います。伊勢町では小学生の下校時の見守りや夜回りを継続的に実施しておりますが、「あいさつ運動」で安全でふれあいのある町になればと思います。

具体的な内容を、自治会・高年クラブ・子ども会で話し合うことも必要かもしれません。

とにかく、伊勢町内でどなたかに会ったら、「おはようございます」「こんにちは」「こんばんは」と声をかけ合うようにしましょう。



阪神間7市1町行政連携防災訓練に参加しました。

8月31日(日)、潮芦屋フリーゾーン(ヨットハーバー近く)をメイン会場として、平成26年度の兵庫県・阪神間7市1町の合同防災訓練が実施されました。マグニチュード9.1の地震が発生したとの前提のもと、県市職員、自衛隊、警察、海上保安署、米軍も参加し、ヘリコプター、防災車両や大型重機も動員しての本格的な訓練でした。芦屋市からは各町の自主防災組織メンバーや任意参加の市民も加わり、シェイクアウト訓練に始まり、簡易ベッドの組み立て、物資輸送や緊急時トイレの設置・活用法など多岐にわたる訓練を体験しました。

伊勢町からは自主防災部会のメンバーを中心に7名が参加しました。

また、サブ会場となった芦屋市保健福祉センターでは障がいをもった方や高齢者の支援についての訓練があり、伊勢町からは自主防災部会のメンバーが参加しました。

地震津波と共に短時間豪雨による災害が多発しており、日頃から家庭で災害に備えた防災グッズや保存食などを備えておくようにしましょう。

伊勢町ナイスガイクラブ会員を募集しています

ナイスガイクラブは昼間の学童下校時見守り週2回、夜回り月2回。ご都合の良い時にご参加頂ければ、結構です。年2回懇親会もあります。お問合せは [redacted] 藤原まで。

参考 伊勢町だより 10月号 抜粋